

単元の指導計画と評価計画（全 12 時間）

次	時 本時	目標	主な学習活動	学習活動に即した具体的な 評価規準（評価方法）
1	1	・おもちゃの動く仕組みに着目しながら見本のおもちゃで遊ぶ中で、身近にある物を使ったおもちゃの動きの面白さやその特徴に気付くことができるようにする。	・見本のおもちゃで遊び、自分のつくりたいおもちゃを決める。	・【ア①】（発言、行動） ・【イ①】（行動）
2	2 3	・つくりたいおもちゃを思い描きながら使う材料を選び、つくる中で、材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付くことができるようにする。	・教科書、学校図書などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を選んだり、材料を組み合わせたりして自分のおもちゃをつくる。	・【ア②】（発言、ワークシート） ・【ア③】（行動） ・【イ②】（ワークシート）
	4 5	・つくりたいおもちゃを思い描きながら使う材料を選び、つくる中で、材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付くことができるようにする。	・インターネット、教科書、学校図書などを参考にして、おもちゃに必要な材料や道具を選んだり、材料を組み合わせたりして自分のおもちゃをつくる。	・【ア②】（発言、ワークシート） ・【ア③】（行動） ・【イ②】（ワークシート）
3	6 本時 7	・おもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、友達のおもちゃと比べたり、ゲストティーチャー（教職員）に意見を聞いて情報収集をしたりしながら、おもちゃをつくる中で、自分が加えた工夫とおもちゃの動きとの間に一定の関係性があることに気付き、繰り返し改良することができるようにする。	・自分が作ったおもちゃをもっと動くようにするために、友達と意見交換をしたり、教職員から意見を聞いたりして情報を集め、おもちゃを繰り返し改良する。	・【ア④】（発言、ワークシート） ・【イ③】（行動） ・【ウ①】（行動、ワークシート）
	8 9	・おもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、実際に試したり、友達のおもちゃと比べたりしながらおもちゃを作る中で、自分が加えた工夫とおもちゃの動きとの間に一定の関係性があることに気付き、繰り返し改良しようとするができるようにする。	・おもちゃを工夫して改良しながら遊び、よりよく動くように、友達と話し合ったり遊んだりする。	・【ア④】（発言、ワークシート） ・【イ③】（行動） ・【ウ①】（行動、ワークシート）
4	10 11 12	・1年生と楽しく遊んでいる様子を思い描きながら、遊び方やルールを決めて遊ぶ活動を通して、自分が工夫したことができるようになったことに気付くとともに、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとすることができるようにする。	・1年生と楽しく遊ぶ交流活動についてグループで話し合う。 ・1年生と遊ぶ交流活動に向けて、グループで準備をする。 ・1年生と楽しく遊ぶ交流活動を楽しむ。 ・これまでの学習を振り返り、ワークシートに書く。	・【ア⑤】（ワークシート） ・【イ④】（発言、行動） ・【ウ②】（行動）